

# 第3回 バイオビジネス・スタートアップ

## ～ライフイノベーションのための糖鎖関連シーズ～

2012年 3月 6日 (火) 13:30～16:15 (名刺交換会 16:20～)

TKPガーデンシティ横浜 カンファレンスルーム4、5  
(コンカード横浜ビル2階)

主催：財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

後援：財団法人かずさディー・エヌ・エー研究所

今年度、神奈川県と木原財団では、県のライフサイエンス分野振興事業の一環として、県内の有望な研究・技術シーズの事業化促進や連携促進を目的として、大学・研究機関やバイオ系企業等によるプレゼンテーションや参加者との情報交換の場である「バイオビジネス・スタートアップ」を開催しています。

第3回は、糖鎖をテーマとします。機能性分子として糖鎖を見れば、バイオ医薬品・DDSの研究開発において、糖鎖を管理・制御することは極めて重要な位置づけにあります。また、細胞/ ウィルスの表面タグとして糖鎖を見れば、認識特異性の高いレクチンは様々な応用の可能性を秘めています。本セミナーでは、神奈川県下を中心に、事業化意欲の高い4大学・研究機関とバイオ系ベンチャー企業1社の技術シーズ、事業化シーズの紹介を行います。

横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワークにて、創薬・診断関連ビジネスに係る企業の皆様のご参加をお待ち致しております。

### 【プログラム】

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:00～      | 受付  |
| 13:30～13:35 | 挨拶：財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局より                                  |
| 13:35～14:00 | 産業技術総合研究所 糖鎖医工学研究センター<br>糖鎖分子情報解析チーム チーム長 亀山 昭彦 氏           |
| 14:05～14:30 | 東海大学 工学部応用化学科 教授 稲津 敏行 氏                                    |
| 14:35～15:00 | 株式会社バイオメッドコア 代表取締役 佐藤 雄一郎 氏                                 |
| 15:05～15:20 | 休憩  |
| 15:20～15:45 | 横浜市立大学 国際総合科学部 環境生命コース長 教授 大関 泰裕 氏                          |
| 15:50～16:15 | 神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん分子診断研究プロジェクト<br>プロジェクトリーダー・主任研究員 辻 祥太郎 氏 |
| 16:20～17:30 | 名刺交換会<br>※参加者相互の名刺交換、情報交換などにご活用ください。                        |

【お申込み】 ホームページ <http://yk-bio.net> からお申込みください。

### 〈会場のご案内〉

〒221-0056

横浜市神奈川区金港町3-1

コンカード横浜ビル2F

事務所直通電話番号:045-450-6317

### 〈アクセス〉

「横浜駅」**きた東口 A出口**より徒歩5分

<http://tkpcy.net/>



【お問合せ先】 横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワーク事務局

(財団法人木原記念横浜生命科学振興財団)

電話：045-502-4810 E-mail: [info@yk-bio.net](mailto:info@yk-bio.net)

1. 産業技術総合研究所 糖鎖医工学研究センター 糖鎖分子情報解析チーム チーム長 亀山 昭彦 氏  
13:35~14:00

新しい膜電気泳動法SMMEとその応用展開

ムチンやプロテオグリカンなど糖含量の高い巨大分子を簡便に分析する新たな方法として分子マトリクス電気泳動法 (SMME) を開発した。本講演では、SMMEの開発と分析例、さらにはバイオ医薬の糖鎖管理技術などへの応用を視野に入れた発展型SMMEについて紹介する。

2. 東海大学 工学部応用化学科 教授 稲津 敏行 氏  
14:05~14:30

天然糖鎖とタンパク質の複合化技術

糖タンパク質製剤の均一性が問題となっている。構造が明確な糖タンパク質を再構築する手法は、糖鎖アミノ酸を天然から調製し合成原料とする方法と、エンド型糖加水分解酵素 (Endo-M) の糖鎖転移反応を用いる化学—酵素法の二つに限られる。これら技術の最近の進展について我々の研究成果を中心に紹介したい。

3. 株式会社バイオメッドコア 代表取締役 佐藤 雄一郎 氏  
14:35~15:00

リポソーム製剤のトータルソリューションを提供する大学発ベンチャー

東海大学発ベンチャーとして2005年に創業、(1) マンノース被覆リポソーム：標的化能を持ったDDSデバイス、「細胞性免疫アジュバント」としての開発、(2) 革新的なりポソーム製造方法とその製造装置：リポソーム医薬GMP製剤の受託開発を通じて、リポソーム技術の未来を切り拓いています。

休憩 15:05~15:20

4. 横浜市立大学 国際総合科学部 環境生命コース長 教授 大関 泰裕 氏  
15:20~15:45

糖鎖医学の基盤研究に活躍できるか？海洋動物レクチン

海洋動物には、特徴ある糖鎖結合性を有すレクチンが多種多量に存在します。実験動物モデルニッポンウミシダ(棘皮動物)レクチンの糖鎖結合解析結果と再生研究への活用、ゲノムデータベースが解明された二枚貝(軟体動物)、魚卵レクチンにそれぞれ見られた、直接細胞死の誘導および遺伝子発現抑制機能を述べ、レクチンによる細胞制御や糖鎖医学研究のツールとしての可能性を紹介いたします。

5. 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター臨床研究所  
がん分子診断研究プロジェクト プロジェクトリーダー・主任研究員 辻 祥太郎 氏 15:50~16:15

結核菌結合レクチン・インテレクチンの発見と中皮腫マーカーへの応用

インテレクチンは結核菌糖鎖に結合する動物レクチンで、主に小腸に発現し、病原菌や寄生虫に対する生体防御機能を持つと考えられている。本発表では、インテレクチンの発見からこれまでの研究について紹介する。また、インテレクチンがアスベストにより発生する悪性胸膜中皮腫の優れたがんマーカーであることについても紹介したい。

■ 16:20~17:30 名刺交換会

【お問合せ先】横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワーク事務局  
(財団法人木原記念横浜生命科学振興財団)  
〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6 横浜バイオ産業センター  
電話:045-502-4810 FAX: 045-502-9810  
URL: <http://www.yk-bio.net> E-mail: [info@yk-bio.net](mailto:info@yk-bio.net)